

ネットワーク関連の設定

この章は、次の項で構成されています。

- CIMC NIC の設定 (1 ページ)
- 共通プロパティの設定 (5ページ)
- IPv4 の設定 (5 ページ)
- IPv6 の設定 (7 ページ)
- サーバ VLAN の設定 (9ページ)
- ネットワークセキュリティの設定(10ページ)
- ネットワーク解析モジュール機能の設定 (12ページ)
- •NTP 設定の構成 (13 ページ)

CIMC NIC の設定

CIMC NIC

CIMC への接続には、2種類の NIC モードを使用できます。

(注) M3 モジュールの場合、GE2 と GE3 は TE2 と TE3 に置き換えられます。

NICモード

- •[Dedicated]: CIMC への接続は、管理イーサネットポートを経由して使用できます。
- Shared LOM: CIMC への接続は、マザーボードのオンボード LAN (LOM) イーサネット ホスト ポート経由およびルータの PCIe と MGF インターフェイス経由で使用できます。



(注) Shared LOM モードでは、すべてのホストポートが同じサブネットに属している必要があります。

(注)

CIMC NIC の設定

NIC モードとインターフェイスを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

NIC を設定するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- 2. Server /cimc # scope network
- **3.** Server /cimc/network # set mode {dedicated |shared_lom}
- 4. Server /cimc/network # set interface {console |ge1}
- 5. Server /cimc/network # commit

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ2	Server /cimc # scope network	CIMCネットワークコマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # set mode {dedicated shared_lom}	NIC モードを次のいずれかに設定します。
		• dedicated : CIMC へのアクセスに管理イーサネット ポートを使用します。
		(注) 専用モードはEHWICEシリーズ NCE には適用されません。
		• shared LOM mode : CIMC へのアクセスに LAN On Motherboard(LOM)イーサネット ホスト ポートを使用します。
		(注) Shared LOM モードでは、すべてのホ スト ポートが同じサブネットに属し ている必要があります。
ステップ4	Server /cimc/network # set interface {console ge1}	NIC インターフェイスを次のいずれかに設定します。
		 console: ルータの PCIe インタ フェースを E シ リーズ サーバ に接続するか、またはルータの EHWIC インターフェイスを NCE に接続するた めに使用される内部インターフェイス。
		•gel:高速バックプレーン スイッチで CIMC に アクセスするために使用される内部インター フェイス。
		 ge2:プライマリインターフェイスまたはバッ クアップインターフェイスとして使用できる外 部インターフェイス。
		•ge3: プライマリインターフェイスまたはバッ クアップインターフェイスとして使用できる外 部インターフェイス。
		 (注) GE3インターフェイスに関連するすべての インターフェイスオプションは、ダブル 幅のEシリーズサーバにのみ適用できま す。

	コマンドまたはアクション	目的	
		(注)	M3 サーバの場合、インターフェイス GE は TE によって置き換えられます。
		(注)	EHWIC E シリーズ NCE または NIM E シ リーズ NCE 上で外部 GE2 インターフェイ スを使用して CIMC アクセスを設定してい る場合、サーバのリブート中に CIMC との 接続が失われることがあります。これは想 定されている動作です。リブート中に CIMC との接続を維持する必要がある場合 は、他のネットワーク インターフェイス を使用して CIMC アクセスを設定すること をお勧めします。『Cisco UCS E シリーズ サーバおよび Cisco UCS E シリーズ サーバおよび Cisco UCS E シリーズ キット ワーク コンピュート エンジン スタート アップ ガイド』の「CIMC Access Configuration Options—EHWIC E-Series NCE」および「CIMC Access Configuration Options—NIM E-Series NCE」の項を参照し てください。
ステップ5	Server /cimc/network # commit	トランサ す。	「クションをシステムの設定にコミットしま
		(注)	使用可能なNICモードおよびNIC冗長モー ドのオプションは、お使いのプラット フォームによって異なります。サーバでサ ポートされていないモードを選択すると、 変更を保存するときにエラーメッセージ が表示されます。

次に、CIMC ネットワーク インターフェイスを設定する例を示します。

Server# scope cimc Server /cimc # scope network Server /cimc/network # set mode shared_lom Server /cimc/network *# commit Server /cimc/network #

共通プロパティの設定

サーバを説明するには、共通プロパティを使用します。

始める前に

共通プロパティを設定するには、admin権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- 2. Server /cimc # scope network
- **3.** Server /cimc/network # set hostname host-name
- 4. Server /cimc/network # commit

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # scope network	CIMCネットワークコマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # set hostname host-name	ホストの名前を指定します。
ステップ4	Server /cimc/network # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。

例

次に、コマンドのプロパティを設定する例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # set hostname Server
Server /cimc/network *# commit
Server /cimc/network #
```

IPv4の設定

始める前に

IPv4 ネットワークの設定を実行するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- 2. Server /cimc # scope network
- **3.** Server /cimc/network # set dhcp-enabled {yes |no}
- 4. Server /cimc/network # set v4-addr ipv4-address
- 5. Server /cimc/network # set v4-netmask *ipv4-netmask*
- 6. Server /cimc/network # set v4-gateway gateway-ipv4-address
- 7. Server /cimc/network # set dns-use-dhcp {yes |no}
- 8. Server /cimc/network # set preferred-dns-server *dns1-ipv4-address*
- 9. Server /cimc/network # set alternate-dns-server *dns2-ipv4-address*
- **10.** Server /cimc/network # commit
- **11.** Server /cimc/network # **show** [**detail**]

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # scope network	CIMCネットワークコマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # set dhcp-enabled {yes no}	CIMCでDHCPを使用するかどうかを選択します。
		(注) DHCP がイネーブルである場合は、CIMC 用に1つの IP アドレスを予約するように DHCP サーバを設定することを推奨しま す。サーバの複数のポートを通じてCIMC に到達できる場合、それらのポートの全 範囲の MAC アドレスに対して1つの IP アドレスを予約する必要があります。
ステップ4	Server /cimc/network # set v4-addr ipv4-address	CIMC の IP アドレスを指定します。
ステップ5	Server /cimc/network # set v4-netmask ipv4-netmask	IP アドレスのサブネットマスクを指定します。
ステップ6	Server /cimc/network # set v4-gateway gateway-ipv4-address	IP アドレスのゲートウェイを指定します。
ステップ 1	Server /cimc/network # set dns-use-dhcp {yes no}	CIMC が DNS サーバ アドレスを DHCP から取得す るかどうかを選択します。
ステップ8	Server /cimc/network # set preferred-dns-server dns1-ipv4-address	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。
ステップ 9	Server /cimc/network # set alternate-dns-server dns2-ipv4-address	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。
ステップ10	Server /cimc/network # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	Server /cimc/network # show [detail]	(任意)IPv4 ネットワークの設定を表示します。

次に、IPv4 ネットワークの設定を実行し、表示する例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # set dhcp-enabled no
Server /cimc/network *# set v4-addr 10.20.30.11
Server /cimc/network *# set v4-netmask 255.255.248.0
Server /cimc/network *# set v4-gateway 10.20.30.1
Server /cimc/network *# set dns-use-dhcp-enabled no
Server /cimc/network *# set preferred-dns-server 192.168.30.31
Server /cimc/network *# set alternate-dns-server 192.168.30.32
Server /cimc/network *# commit
Server /cimc/network # show detail
Network Setting:
    IPv4 Address: 10.20.30.11
    IPv4 Netmask: 255.255.248.0
    IPv4 Gateway: 10.20.30.1
   DHCP Enabled: no
   Obtain DNS Server by DHCP: no
    Preferred DNS: 192.168.30.31
   Alternate DNS: 192.168.30.32
   VLAN Enabled: no
   VLAN ID: 1
    VLAN Priority: 0
    Hostname: Server
   MAC Address: 01:23:45:67:89:AB
   NIC Mode: dedicated
   NIC Redundancy: none
```

Server /cimc/network #

IPv6の設定

始める前に

IPv6 ネットワークの設定を実行するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- 2. Server /cimc # scope network
- **3.** Server /cimc/network # set v6-dhcp no
- 4. Server /cimc/network # set v6-enabled yes
- 5. Server /cimc/network # set v6-addr ipv6-address
- 6. Server /cimc/network # set v6-gateway gateway-ipv6address

- 7. Server /cimc/network # commit
- 8. Server /cimc/network # show [detail]

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ2	Server /cimc # scope network	CIMC ネットワーク コマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # set v6-dhcp no	DHCP をディセーブルにします。
ステップ4	Server /cimc/network # set v6-enabled yes	IPv6アドレッシングをイネーブルにします。
ステップ5	Server /cimc/network # set v6-addr ipv6-address	CIMC の IP アドレスを指定します。
ステップ6	Server /cimc/network # set v6-gateway gateway-ipv6address	IP アドレスのゲートウェイを指定します。
ステップ7	Server /cimc/network # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。
ステップ8	Server /cimc/network # show [detail]	(任意)IPv4 と IPv6 ネットワークの設定を表示します。

例

次に、IPv6ネットワークの設定を実行し、表示する例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # set v6-dhcp-no
Server /cimc/network # set v6-enabled yes
Server /cimc/network *# set v6-addr 2001:db8:101:f101:f2f7::14
Server /cimc/network *# set v6-gateway 2001:db8:101:f101:f2f7::1
Server /cimc/network *# commit
Server /cimc/network # show detail
Network Setting:
   Network Setting:
   IPv4 Address: 10.197.82.23
   IPv4 Netmask: 255.255.255.192
   IPv4 Gateway: 10.197.82.1
   DHCP Enabled: no
   DDNS Enabled: yes
   DDNS Update Domain:
   Obtain DNS Server by DHCP: no
   Preferred DNS: 0.0.0.0
   Alternate DNS: 0.0.0.0
   VLAN Enabled: no
   VLAN ID: 1
   VLAN Priority: 0
   Hostname: E160S
   MAC Address: 00:F6:63:B9:65:DB
   NIC Mode: shared_lom
   NIC Redundancy: none
```

```
NIC Interface: te3
IPv6 Enabled: yes
IPv6 Address: 2600:0:c:87ee::12
IPv6 Prefix: 64
IPv6 Gateway: 2600:0:c:87ee::1
IPv6 Link Local: fe80::2f6:63ff:feb9:65db
IPv6 SLAAC Address: 2600:0:c:bfe7:2f6:63ff:feb9:65db
IPv6 DHCP Enabled: no
IPv6 Obtain DNS Server by DHCP: no
IPv6 Obtain DNS Server by DHCP: no
IPv6 Alternate DNS: ::
IPv6 Alternate DNS: ::
```

サーバ VLAN の設定

始める前に

サーバ VLAN を設定するには、admin としてログインしている必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- 2. Server /cimc # scope network
- 3. Server /cimc/network # set vlan-enabled {yes |no}
- 4. Server /cimc/network # set vlan-id id
- 5. Server /cimc/network # set vlan-priority priority
- 6. Server /cimc/network # commit
- 7. Server /cimc/network # show [detail]

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンドモードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # scope network	CIMC ネットワーク コマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # set vlan-enabled {yes no}	CIMC を VLAN に接続するかどうかを選択します。
ステップ4	Server /cimc/network # set vlan-id id	VLAN 番号を指定します。
ステップ5	Server /cimc/network # set vlan-priority priority	VLAN でのこのシステムのプライオリティを指定します。
ステップ6	Server /cimc/network # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。
ステップ7	Server /cimc/network # show [detail]	(任意) ネットワークの設定を表示します。

次に、サーバ VLAN を設定する例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # set vlan-enabled yes
Server /cimc/network *# set vlan-id 10
Server /cimc/network *# set vlan-priority 32
Server /cimc/network *# commit
Server /cimc/network # show detail
Network Setting:
   IPv4 Address: 10.20.30.11
    IPv4 Netmask: 255.255.248.0
    IPv4 Gateway: 10.20.30.1
   DHCP Enabled: yes
   Obtain DNS Server by DHCP: no
   Preferred DNS: 192.168.30.31
   Alternate DNS: 192.168.30.32
   VLAN Enabled: yes
   VLAN ID: 10
   VLAN Priority: 32
   Hostname: Server
   MAC Address: 01:23:45:67:89:AB
   NIC Mode: dedicated
   NIC Redundancy: none
```

Server /cimc/network #

ネットワーク セキュリティの設定

ネットワーク セキュリティ

CIMC は、IP ブロッキングをネットワーク セキュリティとして使用します。IP ブロッキング は、サーバまたは Web サイトと、特定の IP アドレスまたはアドレス範囲との間の接続を防ぎ ます。IP ブロッキングは、これらのコンピュータから Web サイト、メール サーバ、またはそ の他のインターネット サーバへの不要な接続を効果的に禁止します。

禁止 IP の設定は、一般的に、サービス拒絶(DoS)攻撃から保護するために使用されます。 CIMC は、IP ブロッキングの失敗回数を設定して、IP アドレスを禁止します。

ネットワーク セキュリティの設定

IP ブロッキングの失敗回数を設定する場合は、ネットワーク セキュリティを設定します。

始める前に

ネットワークセキュリティを設定するには、admin権限を持つユーザとしてログインする必要 があります。

手順の概要

- 1. Server# scope cimc
- **2.** Server /cimc # scope network
- 3. Server /cimc/network # scope ipblocking
- 4. Server /cimc/network/ipblocking # set enabled {yes | no}
- 5. Server /cimc/network/ipblocking # set fail-count fail-count
- 6. Server /cimc/network/ipblocking # set fail-window *fail-seconds*
- 7. Server /cimc/network/ipblocking # set penalty-time penalty-seconds
- 8. Server /cimc/network/ipblocking # commit

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ2	Server /cimc # scope network	CIMCネットワークコマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # scope ipblocking	コマンドモードの妨げになる IP を入力します。
ステップ4	Server /cimc/network/ipblocking # set enabled {yes no}	IP ブロッキングをイネーブルまたはディセーブルに します。
ステップ5	Server /cimc/network/ipblocking # set fail-count fail-count	指定された時間ユーザがロックアウトされる前に、 ユーザが試行できるログインの失敗回数を設定しま す。
		この回数のログイン試行失敗は、[IP Blocking Fail Window] フィールドで指定されている期間内に発生 する必要があります。 3 ~ 10 の範囲の整数を入力します。
ステップ6	Server /cimc/network/ipblocking # set fail-window fail-seconds	ユーザをロックアウトするためにログイン試行の失 敗が発生する必要のある期間(秒数)を設定しま す。 60~120の範囲の整数を入力します。
ステップ1	Server /cimc/network/ipblocking # set penalty-time penalty-seconds	ユーザが指定されている期間内にログイン試行の最 大回数を超えた場合に、ユーザがロックアウトされ ている秒数を設定します。 300~900の範囲の整数を入力します。
ステップ8	Server /cimc/network/ipblocking # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。

次に、IP ブロッキングを設定する例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # scope ipblocking
Server /cimc/network/ipblocking # set enabled yes
Server /cimc/network/ipblocking *# set fail-count 5
Server /cimc/network/ipblocking *# set fail-window 90
Server /cimc/network/ipblocking *# set penalty-time 600
Server /cimc/network/ipblocking #
```

ネットワーク解析モジュール機能の設定

始める前に

このタスクを実行するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- **2.** Server /cimc # scope network
- **3.** Server /cimc/network # scope nam
- **4.** Server /cimc/network/nam # set enabled yes
- **5.** Server /cimc/network/nam # **show detail**

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # scope network	CIMC ネットワーク コマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # scope nam	ネットワーク解析モジュール(NAM)コマンドモー ドを開始します。
ステップ4	Server /cimc/network/nam # set enabled yes	NAM 機能をイネーブルにします。 NAM 機能をディセーブルにするには、set enabled no コマンドを使用します。
ステップ5	Server /cimc/network/nam # show detail	NAM 機能がイネーブルかディセーブルかを確認します。

```
次に、コマンドのプロパティを設定する例を示します。
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # scope nam
Server /cimc/network/nam # set enabled yes
Server /cimc/network/nam # show detail
Network Analysis Module:
Enabled: yes
```

NTP 設定の構成

例

NTP 設定

デフォルトでは、CIMC がリセットされると、ホストと時刻が同期されます。Network Time Protocol (NTP) サービスを導入すると、CIMC を設定して NTP サーバと時刻を同期できます。 デフォルトでは、NTP サーバは CIMC で動作しません。NTP サーバまたは時刻源サーバとし て機能するサーバ (少なくとも1台、最大4台) の IP アドレスまたは DNS アドレスを指定 し、NTP サービスをイネーブルにして設定する必要があります。NTP サービスをイネーブル にすると、CIMC は設定された NTP サーバと時刻を同期します。NTP サービスは CIMC での み変更できます。

(注) NTP サービスをイネーブルにするには、DNS アドレスよりも、サーバの IP アドレスを指定す ることを推奨します。

NTP 設定の構成

始める前に

このタスクを実行するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順の概要

- **1.** Server# scope cimc
- 2. Server /cimc # scope network
- **3.** Server /cimc/network # scope ntp
- 4. Server /cimc/network/ntp # set enabled yes
- 5. Server /cimc/network/ntp # set [server-1 | server-2 | server-3 | server-4] ip-address or domain-name
- 6. Server /cimc/network/ntp # show detail

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ2	Server /cimc # scope network	CIMC ネットワーク コマンドモードを開始します。
ステップ3	Server /cimc/network # scope ntp	NTP コマンド モードを開始します。
ステップ4	Server /cimc/network/ntp # set enabled yes	NTP サービスをイネーブルにします。
		NTPサービスをディセーブルにするには、set enabled no コマンドを使用します。
ステップ5	Server /cimc/network/ntp # set [server-1 server-2 server-3 server-4] <i>ip-address or domain-name</i>	NTPサーバまたはタイムソースサーバとして動作す る特定のサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設 定します。 最大4つのサーバを設定できます。
ステップ6	Server /cimc/network/ntp # show detail	NTP サービスがイネーブルになっているかどうか、 および NTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名 を表示します

例

次の例は、NTP の設定を示しています。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope network
Server /cimc/network # scope ntp
Server /cimc/network/ntp # set enabled yes
Server /cimc/network/ntp # set server-1 10.50.171.9
Server /cimc/network/ntp # set server-2 time.cisco.com
Server /cimc/network/ntp # show detail
NTP Service Settings:
    Enabled: yes
    Server 1: 10.50.171.9
    Server 2: time.cisco.com
    Server 3:
    Server 4:
```